

令和4年度 こども園（保育園）関係者評価

施設評価シート

子育てセンターとみがおか

こども園（保育園）関係者評価委員会による評価

対象評価： 最終評価

評価日時： 令和5年 2月 2日（木） 9:30 ~ 11:00

【こども園（保育園）関係者評価委員会構成】

学識委員 1名 地域委員 1名 保護者委員 2名

【園の教育・保育目標】

みんななかよし ~こどもがめぐり逢うすべてのことに~

【本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した
こども園（保育園）評価の具体的な目標や計画】

生活・遊びや様々な活動の中で、「自分は大切な存在」「自分は自分でいいんだ」という自己肯定感が感じられるよう、子ども1人1人の気持ちに寄り添い、共感・傾聴・認めていく事を大切にしていきます。
また、その中で友だち・異年齢・大人・地域などの様々な人との関りを通して、多様化に気付き、お互いに認め合う事が出来るよう、職員は支援のあり方や取り組みについて自分の目標を決め、自ら学んだことを職員間で定期的に共有したり、意見交換を通し、互いに学びを広げたり深めて行きながら保育実践を積み重ねていきます。

【評価基準について】

- 4・・・十分に達成されていた
- 3・・・ほぼ達成されていた
- 2・・・取り組みは見られるが達成が十分ではない
- 1・・・取り組みが不十分であった

| 項目 | 園評価 | 評価理由 | 最終評価 | 評価委員から |
|--|-----|--|------|---|
| I. 目標の理解 1. グランドデザインを理解している 2. グランドデザインを意識している 3. 重点目標を意識している 4. 重点目標を意識して取り組んでいる | 4 | ・年度始めにグラウンドデザインの共有を実施した。また、教育計画書を職員全員に配り常に確認や意識が持てるようにした。 ・グラウンドデザインを意識したうえで、指導計画の作成を行い、教育・保育を実施している。 ・重点目標の取り組みでは、職員一人一人が自己肯定感への学びを深めながら、教育・保育の実践へと繋げることができていた。 ・カンファレンスや園内研修で、個々の実践を共有した。しかし、日頃から互いに取り組みを意識したり、連携、協同していくためには、カンファレンスや園内研修のみでは難しさがあった。 | 4 | ・個々を大切に保育していることが、参観会や今回の報告で分かった。 ・重点目標やグラウンドデザインは、職員全員で理解し共有されていると感じた。 ・多様性を認めているという事を感じた。しかし、子どもには「嫌な事は嫌」という子もいると思うので、対応の仕方が難しいと思った。 |
| II. 教育・保育の計画性と内容 1. 指導計画の作成 2. 環境への配慮 3. 教育・保育活動の実践 4. 計画と実践の評価・反省 | 3 | ・指導計画の作成は主に主担任が行っているが、偏りがないようクラス間で話し合いをしながら作成し、様々な視点で計画を立てている。 ・環境面において、保育室内の環境が通年同じ環境になってしまい、四季を通して子ども達の感性が刺激される環境作りは十分に行えなかった。 ・玩具や物の扱いが雑になってしまう場面が見られた。物の大切さや扱い方を知らせていくだけでなく、片付けやすい環境作りの見直しをしていくと共に、身近な大人（保育者）が手本となれるよう心掛けが必要だと感じた。 | 4 | ・結果は子どもが大きくなった時に分かる事だと思う。 ・環境面を少し変えるだけで、遊びも広がっていくと思う。 劣化している物や危険な物がある。砂場の玩具やトイレのドアの隙間が破れたりしており、細かな部分で、園だけでなく保護者会とも連携していきながら、子どもや職員にとって良い環境を整えていければと思う。 ・環境面に課題を感じるが、改善しようとしているのを感じる。 |

| | | | | |
|--|---|---|---|--|
| <p>III. 子どもにとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. その子らしさが認められる 2. ゆったりとした生活 3. 自然に触れて心行くまで遊ぶ 4. いろいろな人の中で自分を知る | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・個々に応じた対応を心掛け支援を行っているが、子どもの育ちを支援していくためには、園全体で共通理解をし、支援をしていくことがより求められるため、園内における園児の情報共有の仕方を工夫していきたい。 ・子ども達の気持ちに共感することについて、意識を高くもつことができている。引き続き、子ども達の心の安心感に繋がるような信頼関係を築いていきたい。 ・園児が主体的・意欲的に遊びに関わるためのヒントやアイデアを提供するためには、保育者の知識や技術は個々によって差がある。また、子ども理解には柔軟な発想も必要な技量になるため身に付けていきたい。 | 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・「自然に触れて心ゆくまで」の部分で季節に合わせた遊びをもっと出来ればと感じた。 ・ゆったりとした生活が出来ていると感じた。家庭では出来ない事も園でしてくれていると思う。 ・参観会を通して、子どもが楽しそうに遊んでいる姿を見た。「園に行きたくない」という子がいなければ、子どもにとって良い環境なんだと思う。 ・職員が「出来ている」「子どもにとって良い環境」と自信をもって保育している方が保護者も安心すると思う。 |
| <p>IV. ファミリーにとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 気軽に相談できる 2. いつでも保育に参加できる 3. 必要な情報が得られる 4. 保育を通して地域に親しむ | 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・日中の様子が見えにくい分、必要に応じた情報提供の仕方を工夫していくことや、平日頃のコミュニケーションの機会を大切にしたい。意識した取り組みが、子ども支援だけでなく保護者支援にも繋がっているよう配慮していきたい。 ・新型コロナの影響で、保護者に対して園での活動や行事の参加について、制限せざるを得ない状況ではあった。園としても子どもの姿を直に見て頂く機会を大切にしたいため、感染状況に合わせてながら活動を計画していく。 ・地域ボランティア、学生ボランティア等、新型コロナの感染状況を見ながら可能な範囲での受け入れを行うことができた。また、掲示や毎日の活動発信ツールを用いて、保護者に向けて情報発信を行った。 | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・マイペースな子の保護者に対しての援助の仕方「大丈夫、焦らなく良いよ」等の声を掛けるだけで保護者は安心すると思う。 ・利用者満足度調査の「園からの情報で活動の様子が伝わっているか」の部分について、満足が半数しかいないと感じる。 ・写真の販売枚数が、以上児と未満児で明らかに違ったり、アングルが良くない。子どもの表情がよく見れたり、未満児の日頃の生活の写真が見れたら良いのと思う。 ・送迎時の際に職員と情報交流は出来ている。 |
| <p>V. 地域にとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 誰でも親しく訪ねられる 2. 園の内容がよくわかる 3. 緊急の時頼りになる 4. 子育てに夢がもてるように | 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センターが併設されていることにより、子育ての情報を発信するだけでなく、園の様子や取り組みに関心をもっていただく機会にもなっている。 ・1月から、新型コロナの感染状況を見ながら、支援センター利用者に西側園庭開放も行っている。園児と直接的に関わることは難しいが、様子を見ることのできる機会は増え、関心をもっていただいている様子が伺えている。 ・誰に対しても心地よい挨拶を心掛けているが、立ち止って挨拶することが疎かになってしまう場面がある。子どもの手本になれるよう丁寧な挨拶を心掛けたい。 | 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・磐田市の支援センターが閉鎖される所が多く、園と併設している所も少なく、支援センターがあると地域の情報交換の場になり助かる。 ・子どもが入園する前に支援センターへ行き、とても良い雰囲気や先生方も話やすかった。 ・感染症の状況で難しいが、高齢の方とも交流日があれば良いと思う。 ・地域の方の要望等を受け入れてくれ、地域にとっても親しみが持てる。 |
| <p>VI. スタッフにとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 個性が活かされる 2. 快適な職場づくり 3. 生活や遊びの文化が伝えられる 4. 視野を広げて自ら学ぶ | 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・職員の個性が活かされるよう、強みを活かした実践や学びを昨年度から実施している。職員一人ひとりが自身の取り組みを通して自信を持つことができた。 ・園は、年齢や職種等様々な職員が働く環境にありながら、一人一人の個性や考えを尊重し、互いに言い合える間柄がある。職員の雰囲気は子ども達に与える影響が大きいので、引き続きコミュニケーションを大切にしていきたい。 ・子ども達が過ごす室内外の環境においては、清掃や整理整頓は十分とは言えず、一人一人が意識をもって取り組む必要がある。 | 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・職員全員で、重点目標である「自己肯定感」に意識が向いて保育出来ていると感じる。 ・職員間の雰囲気がよく、コミュニケーションがよく取れている事は、とても良い事だと思う。 ・重点目標の取り組みについても、他クラスや他職種とも報告し合う機会を作っていて良いと思う。 |